

# 部下と協力して、全員参加で 改善を推進するためには、何が大事だろうか？

“作業者”はどういうひと??

作業者は、ロボットか？ 違う 感情、頭脳がある。

ならば、作業者に達成感、充実感を感じてもらうことが大事。

?

そうだ！我々が望むことと同じだ！  
参画、一体感、上達、フィードバック

コミュニケーションが必要

トライする。まずやってみる。

方針・目的を伝える。

目標を設定する。

作業者に実感してもらう。  
わかってもらう。

手法に対しては、伝えるとともに、  
思ってることをいってもらう。

グループミーティング

“作業者”という呼び方は、  
ふさわしくないのでは??

聞くときに、最初から否定しない。

朝礼(1分間スピーチ)

疑問に思ったときは声をかける

# どんな時に、 充実感・達成感・やりがいを感じるのだろうか？

## 参画

自分の考えを持ち  
計画や改善案に  
反映できた時

計画段階から参画する

当面週1回：  
班長同士で改善相談  
会・集中改善実施

## 一体感

皆と協力をして  
推進できた時  
  
部下が動いてくれた  
他の部門も協力してくれた  
上司が相談にのってくれた

部下とのコミュニケーションを  
大事にする

班長クラスで横の協力  
関係をもつ。班長会(仮  
称)で、定期的に他部  
門の改善活動支援

## 上達・進歩

成果が出た時  
目標が達成できた時

目標明示  
目標達成経過の  
見える化・共有化

月次、週次、日次、  
時間、瞬間瞬間での  
PDCA

## フィードバック

ほめられた時  
  
結果のみではなく  
トライしたことに対しても

活動内容の常時見える化

報告や監査時発表の都度  
活動資料を作成するのではなく。

真剣だと知恵が出る

中途半端だとぐちが出る

いいかげんだと 言い訳ばかり